

# 研究支援に県内から3社

## 中小企業庁 X線検査装置など選ぶ

### 新技術・新製品実用化

中小企業庁が公募した中小企業・ベンチャー挑戦支援事業（スタートアップ支援事業）の二〇〇七年度実用化研究開発事業で、静岡県内からエックス線検査装置など研究開発のイメーシテック（浜松市中区和地山、菅圭司社長）など三社の事業が採択された。

新技術や新製品の実用化に向けた研究開発を支援する制度で、全国から

四百三十八件の応募があり、七十七件が採択された。

イメーシテックは「エックス線を利用した高精度インライン計測手法の開発」がテーマ。工業製品検査用にエックス線を使ってより高精度に三次元で確認できる装置の研

究開発を進め、製品化を二工法の改良を図り、環境負荷やコストの削減にもつなげる。二〇〇八年度にも事業化を目指す。

林業・建設機械の企画・開発などを手掛ける丸順エンジニアリング（浜松市中区泉、小川淳次会長）のテーマは「革

新的な砕石杭工法による地盤改良機械の開発に関する研究」。住宅地など小規模な土地で液状化対策と地盤改良を同時に行うことができるよ

うプラスチック製品塗装などの原田塗装工業所（磐田市大中瀬、原田進社長）は「紫外線による樹脂基材表面改質および量産技術に関する研究開発」がテーマ。プラスチックなど樹脂素材に、ガ

平成19年8月25日(土)  
中日新聞 (11面)